

重 要

本要項に記載した情報は令和5年（2023年）9月時点の内容です。

本要項の公開後であっても、選抜方法や日程等に変更が生じる可能性があります。

変更のお知らせは本学ホームページの「入試情報 > 大学院：入試情報 >

重要なお知らせ」に掲載しますので、随時ご確認いただくようお願いします。

【本学ホームページ「重要なお知らせ」URL 及び QR コード】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/info/



2024年4月入学

大学院

生物システム応用科学府

(BASE)

生物機能システム科学専攻

博士前期課程 (修士)

外国人留学生特別選抜

学生募集要項 (第2次募集)

東京農工大学

生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

生物機能システム科学専攻のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

生物機能システム科学専攻は、複雑な生物機能に学ぶことで発想される物質生産及び変換、情報処理及び伝達、環境計測、生体計測、物質循環等に関わる様々なシステムを理解するための学問、学術分野を基盤として、農学と工学に係る幅広い実業界で活躍できる修士人材と、高度な科学的素養と課題解決力を具え、先導的な研究実施能力を有する博士人材の養成を目的とする。 よって、次のような人材を求める。

- ・生物に学び、その機能を生かした物質、機械、情報、医療・健康、医薬、物質循環等、様々な農工融合の新たなシステムに関心があり、これらの知識や技術の習得を通して、幅広い分野で活躍する意欲のある者。
- ・特定の分野の知識・技能だけでなく、関連する分野の素養を基礎として、学際的な分野への対応能力を含めた高度な専門的知識や実験・計測技術の習得に関心を持ち、これらの活用により持続可能で安全・安心な社会へ貢献する意欲のある者。
- ・産業界や国際的ニーズの潮流を理解し、実践的な課題の発見や課題解決に挑戦する意欲をもつ者。

(前期課程)

指導予定教員との連絡について (必須)

出願にあたっては、志望する指導予定教員へ連絡をとり、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。

また、合格した場合は、指導予定教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

小金井地区学生支援室入学試験係

2024年 4 月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻博士前期課程（修士）
外国人留学生特別選抜
学生募集要項（第 2 次募集）

本専攻は前期課程（修士）と後期課程（博士）からなり、この募集要項は前期課程（修士）についてのものである。本学府に関する概要、所属教員の研究内容等については別添案内「東京農工大学大学院生物システム応用科学府」を参照のこと。

1 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人数	備考
生物機能システム科学専攻	若干名	

2 出願資格

外国人留学生特別選抜

次の 1)、2) のすべてに該当し、①～⑩のいずれかに該当する者とする。

- 1) 外国籍を有する者（日本国永住許可を得ている者は除く。）
- 2) 出入国管理及び難民認定法において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は受験の際に有する見込みのある者で、次の各号のいずれかに該当する者。
 - ① 大学を卒業した者及び入学する月前までに卒業見込みの者。
 - ② 学校教育法（昭和 22 年法律第 6 号）第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月前までに学士の学位を授与される見込みの者。
 - ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学する月前までに修了見込みの者。
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学する月前までに修了見込みの者。
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月前までに修了見込みの者。
 - ⑥ 専修学校の専門課程で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月前までに修了見込みの者。
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑧ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑨ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の 1 日現在 22 歳に達した者。

- ⑩ 入学する月前までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。ただし、2024年3月卒業見込みの者を除く。

注)「出願資格⑨⑩」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行う。

(7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照のこと)

3 出願期間

2023年10月12日(木)～10月13日(金)まで

窓口受付時間：9時30分～11時30分、13時30分～16時

4 出願手続

出願にあたっては、出願書類を出願期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に持参すること。なお、他大学を卒業見込みの者、社会人等で出願書類を郵送する場合は、書留速達とし、出願期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に到着したものを受理する。

(1) 出願書類

出 願 書 類		注 意
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	1) 志望教育研究分野欄には、出願者が志望する教育研究分野を第二志望まで記入することができる。また、指導予定教員欄には出願者が希望する指導教員名を記入すること。 2) 志望グループが2つにわたる場合、専門の口述試験は両志望グループで受験するものとする。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	1) 写真票・受験票には、志願者本人と確認できる写真(脱帽上半身で4cm×3cm)を貼付すること。 2) 志望教育研究分野欄には、志願票に記入したものと同一の内容を記入すること。
C	卒 業 (見 込) 証 明 書 又 は 学 位 授 与 (申 請) 証 明 書	1) 出願資格①、③に該当する者は、出身大学(学部)長が作成した卒業(見込)証明書とする。 2) 出願資格②に該当する者は、学位授与機構長が作成した学位授与(申請)証明書若しくは、出身学校長が作成した学位授与申請証明書。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
D	成 績 証 明 書	1) 最終卒業の学校(学部)長が作成し厳封されたもの。 2) 本学卒業見込みの者は、提出する必要はない。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
E	志 望 理 由 書	出願資格⑨、⑩に該当する者。 ※事前審査の際に提出すること。
F	学 歴 等 調 書 (所 定 用 紙)	1) 外国人及び出願資格 ③⑧⑨⑩ に該当する者。 2) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
G	入 学 検 定 料	30,000円を以下の指定口座へ振り込み、支払証明書またはレシートを「入学検定料納付確認票」に貼りつけて提出すること。 【振込先】 三菱UFJ銀行 本店 普通 7851722 口座名義 トウキョウノウコウダイガク ※振り込みの際には、必ず振込人名義を「BASEM(自分の名前)」とすること。 例: BASEM ノウコウタロウ ※海外からの送金は、事前に入試担当に相談すること。 ※入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
H	受 付 票 ・ 宛 名 票 (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。提出後、住所等の変更があった場合は速やかに小金井地区学生支援室入学試験係に連絡すること。
I	そ の 他	1) 住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。)又はパスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。ただし、本学に在籍中の国費留学生は提出不要。

(2) 出願書類提出先

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学小金井地区学生支援室入学試験係

東京農工大学小金井キャンパス管理棟(1階)

電話 042(388)7014(直通)

5 選抜方法

入学試験は、下記の日程で実施する。なお、身体に障害がある者で受験及び修学上特別な措置を必要とする者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出ること。

下記の日程で行い、口述試験と成績証明書を総合して合否判定を行う。

学力検査の日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
11月20日(月)	詳細については別途お知らせします。	口 述 試 験	東京農工大学小金井キャンパス内で実施（詳細については、出願後に案内を配布する。）

6 合格者発表

2023年12月11日(月)午前10時に本学ホームページ (<https://www.tuat.ac.jp>) に掲載する。
合格者には合格通知書等を郵送する。

7 入学手続

(1) 入学手続き期日

2024年3月15日(金)

入学手続の詳細は別途通知する。

(2) 入学に要する費用

① 入学料

282,000 円

② 授業料

年額 535,800 円（前期分授業料 267,900 円、後期分 267,900 円）

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書（所定用紙）を提出しなければならない。（支払った入学費用等は返却できませんので、ご留意ください。）

また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。

(4) その他

身体に障害のある者で修学上特別な措置を必要とする者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出ること。

8 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する指導予定教員に連絡し、事前に確認を得ておくこと。
- (2) 学力検査には、必ず受験票を携帯すること。
- (3) 試験日には、筆記用具を持参すること。
- (4) 出願手続後における提出書類の内容変更は認めない。
- (5) 本要項及び大学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。
- (6) 入学試験に関する照会は、3頁に記載の出願書類提出先とする。
- (7) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。
- (8) 納入した検定料はいかなる理由があっても払い戻さない。
- (9) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受け入れに際し厳格な審査を行っている。
規制事項に該当する場合は、本学から経済産業省（経産省）への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合がある。また、経産省が国際平和・安全の維持の観点から申請を不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があるので、注意すること。
- (10) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。
 1. 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。
 2. 入学者選抜に用いた試験成績等は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。
 3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
 4. 上記1.～3.の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがある。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供する。

教員の連絡先は生物システム応用科学府HPを参照のこと。

<https://www.tuat.ac.jp/base/staff/>

(2024年4月入学)

教育研究分野名	教 員 名
物質機能設計	教授 萩野賢司
物質機能革新	准教授 村上尚
物質機能応用	教授 銭衛華
	教授 稲澤晋
地盤環境学	准教授 橋本洋平
機能材料科学	准教授 中田一弥
生体医用光学	准教授 西館泉
メディア情報学	教授 藤波香織
自然言語処理	准教授 古宮嘉那子
環境機械システム	教授 石田寛
エネルギーシステム統合	准教授 池上貴志
ロボティクス	教授 水内郁夫
環境光システム	准教授 岩見健太郎
資源生物創製科学	教授 梶田真也
生物生産システム	准教授 鈴木丈詞
物質エネルギー設計	教授 富永洋一
エネルギーシステム解析	教授 秋澤淳
生物応答制御科学	教授 梅澤泰史
生態系型環境システム	教授 豊田剛己
環境モニタリングシステム	准教授 赤井伸行
バイオエレクトロニクス	講師 田畑美幸
電磁波工学	教授 有馬卓司

10 出願資格認定の事前審査について

出願資格の認定については、以下のとおりに事前審査を行うので、事前審査申請書類受付期間中に必要書類をそろえ小金井地区学生支援室入学試験係に提出すること。

(1) 出願資格認定を要する者

- 1) 外国人留学生特別選抜の出願資格⑨、⑩に該当する者。
- 2) 学校教育における課程が16年に満たない者。

(2) 事前審査申請書類受付日時

受付期間……2023年9月12日(火)～9月13日(水)

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時

受付場所……小金井キャンパス管理棟(1階)小金井地区学生支援室入学試験係

(3) 必要書類

事前審査申請書	所定用紙
最終学校の成績証明書及び卒業証明書	1) 最終学校長が作成し厳封したもの 2) 出願資格⑩については、成績証明書のみ 3) 出願資格⑨については、卒業後10年以上経過した者は卒業証明書のみ
志望理由書	所定用紙 日本語横書きで2000字程度にまとめること
学歴等調書	所定用紙
研究報告書等	1) A4用紙を使用し書式自由 2) 印刷物等がある場合は代用可 3) 出願資格⑨に該当する者のみ提出すること

(4) 事前審査日時

詳細は、おって通知する。

(5) 事前審査結果発表

2023年9月22日(金)に郵送する。

(6) 出願資格が認定された者の出願手続

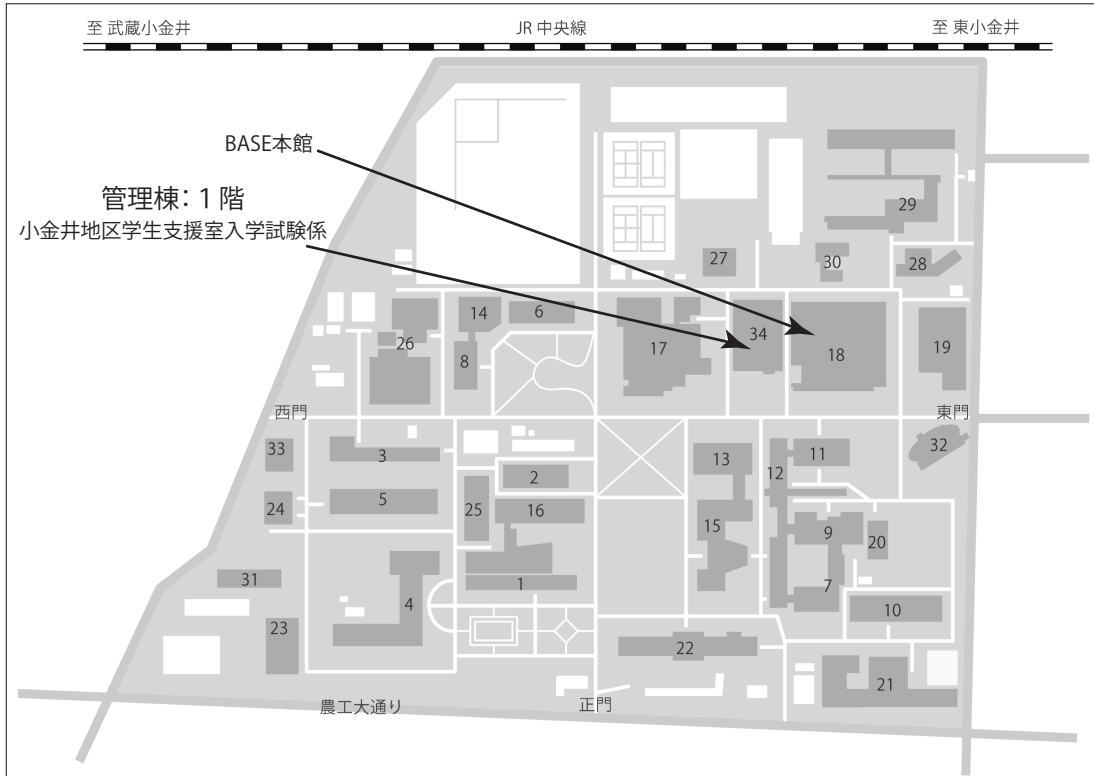
事前審査の結果、出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様の出願手続を行うこと。

(7) その他

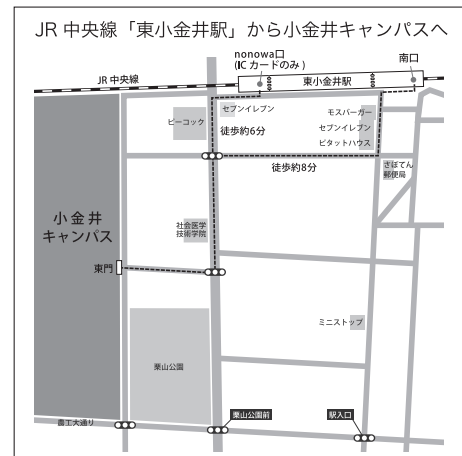
一般選抜、外国人留学生特別選抜の出願資格⑩により本学府博士前期課程に入学した場合、学部学生としての学籍上の身分は退学となる。これにより、各種国家試験等の受験資格で大学の学部卒業が要件となっているものについては受験資格がないことになるので十分留意すること。ただし、大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査及び試験に合格した場合は、学士の資格を取得することができる。

11 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



1 1号館 (応用化学科・化学物理工学科)	10 10号館 (生命工学科・知能情報システム工学科)	18 BASE本館 (大学院生物システム応用科学府 (BASE))	29 榊寮(男子寮)
2 2号館 (機械システム工学科)	11 11号館 (生命工学科)	19 工学部総合会館	30 桜寮(女子寮)
3 3号館 (知能情報システム工学科)	12 12号館 (生命工学科・応用化学科・機械システム工学科・知能情報システム工学科)	20 CAD/CAM実習施設	31 小金井第2宿舍(職員宿舎)
4 4号館 (生体医用システム工学科・応用化学科・化学物理工学科)	13 13号館 (グローバル教育院小金井オフィス)	21 先端産学連携研究推進センター (VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設)	32 140周年記念会館(エリプス)
5 5号館 (生体医用システム工学科・知能情報システム工学科・機器分析施設・産業技術専攻)	14 14号館 (機械システム工学科・生命工学科・産業技術専攻)	22 科学博物館	33 次世代キャパシタ研究センター
6 6号館 (機械システム工学科)	15 工学部講義棟	23 先端科学実験棟	34 管理棟(愛称:CUBE)(工学部事務部)
7 7号館 (知能情報システム工学科)	16 新1号館 (生体医用システム工学科・応用化学科・知能情報システム工学科)	24 環境管理施設	
8 8号館 (総合情報メディアセンター)	17 小金井図書館	25 ものづくり創造工学センター	
9 9号館 (機械システム工学科)		26 体育館・武道場	
		27 工学部実験研究棟	
		28 小金井国際交流会館	



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約22分・立川から約12分)

nonowa口から徒歩約6分、南口から徒歩約8分

〒184-8588 東京都小金井市中町2丁目24-16

☎ (042) 388-7014 (直通)

小金井地区学生支援室入学試験係

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づいて、次のとおり取り扱います。

1. 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績等は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
4. 上記1.～3.の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供します。

受験番号

2024年4月入学

※

東京農工大学大学院生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻博士前期課程（修士）
外国人留学生特別選抜（第2次募集）
入学志願票

教育研究分野名		志望する指導予定教員名	
(第一志望)			
(第二志望)			
ふりがな 氏名			男・女
生年月日	年 月 日生		
本籍 国籍又は地域	国・地域		
現住所	(〒 -)	電話 ()	
連絡場所	(〒 -)	電話 () E-mail: ()	
出願資格	学部 卒業・見込 年 月		大学 学科
学歴 及 び 職 歴	年 月 立		高等学校卒業
	年 月		大学 学部入学
	年 月		大学 学部 卒業 卒業見込
	年 月		
	年 月		
	年 月		

1 ※印欄には記入しないこと。

2 該当する文字を○で囲むこと。

2024年
4月入学

受験番号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻
博士前期課程(修士)(第2次募集)

写真票

ふりがな 氏名	
生年月日	年 月 日生

教育研究分野名	指導予定教員名
(第一志望)	
(第二志望)	

写真貼付欄

1. 写真は脱帽上半身
4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 ※印欄には記入しないこと。

2024年
4月入学

受験番号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻
博士前期課程(修士)(第2次募集)

受験票

ふりがな 氏名	
生年月日	年 月 日生

教育研究分野名	指導予定教員名
(第一志望)	
(第二志望)	

注) 1 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。

2 ※印欄には記入しないこと。

学 歴 等 調 書

【外国人、出願資格③、⑧、⑨、⑩により出願する者】

フリガナ		受験番号	※
氏 名	⑩	性 別	男 ・ 女
生年月日	年 月 日 (歳)	国 籍	

学 歴					
	学 校 名	所 在 地	正 規 の 修 学 年 数	入 学 年 月 卒 業 年 月	学 位 ・ 資 格
小 学 校 又 は 初 等 教 育			年	年 月 年 月	
中 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月	
高 等 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月	
大 学 又 は 高 等 教 育			年	年 月 年 月	
			年	年 月 年 月	
			年	年 月 年 月	
以上を通算した全学校教育修学年数			年		

職 歴				
勤 務 先	所 在 地	勤 務 期 間	役 職	勤 務 内 容
		年 月 年 月		
		年 月 年 月		
		年 月 年 月		
以上を通算した全勤務年数		年		

【出願資格⑨、⑩により出願する者】

受 験 番 号
※

年 月 日

事 前 審 査 申 請 書

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

志願者 ^{ふりがな} 氏 名

⑩

今般、貴大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻博士前期課程に入学を志願するに当たり、事前審査を受けたく、所定の書類を添えて申請しますので、よろしくお願ひします。

【出願資格⑨、⑩により出願する者】

受 験 番 号
※

志 望 理 由 書

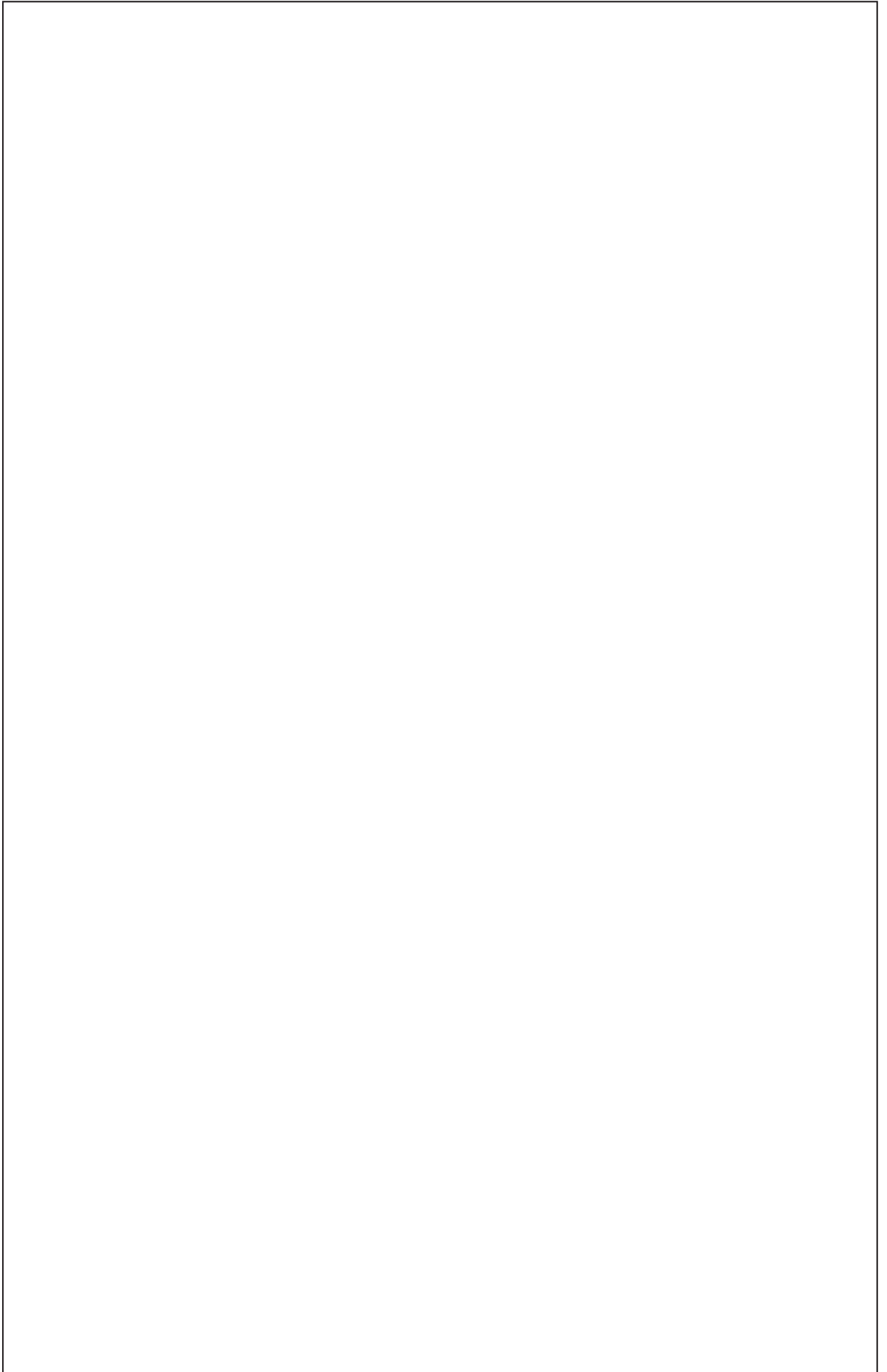
東京農工大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士前期課程）への入学志望者、私 _____ は下記により志望します。

年 月 日

所属・職名等 _____

氏 名 _____

◎ 志望理由、過去の研究歴や職務内容と博士前期課程において希望する研究内容との関係等について（日本語で2,000字以内にまとめる）記入してください。



入 学 承 諾 書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士前期課程）に入学することを承諾します。

年 月 日

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

支払証明書またはレシートを貼りつけてください。

(注意)

納入された入学検定料は原則返還いたしません。

※欄は記入しないでください。

宛 名 票

Contact Information Sticker

これは、「入学手続き類」、その他連絡事項を送付する場合の
宛名として使用します。

※印欄は記入しないでください。

These stickers will be used to address envelopes for sending the
“admission procedure documents” and other information to you.

Do Not fill in the section marked with a ※

郵便番号
Postal code

〒 -

住 所
Address

名 前
Name

(※ 殿)

〒 -

(※ 殿)

〒 -

(※ 殿)

〒 -

(※ 殿)